

沖縄県で豚流行性下痢が発生

●発生概要

農場の所在地 : 沖縄県本島中部地域

農場の飼養状況 : 491頭(種豚6頭、母豚80頭、哺乳豚155頭、子豚250頭)

確認までの経緯 : 9月2日～4日、嘔吐及び下痢を示す母豚が2頭発生。

その後、哺乳豚のみで嘔吐と黄色下痢が発生し、約半数が死亡。

母豚の約半数が食欲不振。

●豚流行性下痢(PED)とは

原因 : コロナウイルス科に属する PED ウイルスの感染によって発症。

症状 : 日齢に関係なく下痢(主に水様性下痢)を起こす。致死率は日齢が進む

につれて低下。繁殖豚、肥育豚の下痢は1週間程度で回復するが、**哺乳豚**は脱水により約50%の致死率、時には100%死亡する。

●発生予防のため、今一度飼養衛生管理基準の確認を！

PEDは2006年に香川県で確認されて以来の発生になります。今回発生した株は、2006年以降にアジア諸国や米国で流行している株と遺伝的に近縁であり、1980～90年代の国内流行時に分離された株とは明確に区別されました。

母豚にワクチンを接種する事で子豚の発病の防止や症状を軽くする事は可能ですが、今回の株は従来と異なるので、ワクチンだけに頼るのではなく、農場にウイルスを侵入させないように車両や畜舎の消毒、分娩豚舎毎の手指消毒や専用長靴の使用など、飼養衛生管理基準の遵守をお願いします。

☆健康観察を行い、異状があれば獣医師または家畜保健衛生所に連絡を！

神奈川県湘南家畜保健衛生所

<本所>

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

TEL : 0463-58-0152

FAX : 0463-58-5679

<西部出張所> (足柄上合同庁舎第2別館3階)

〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島 2489-2

TEL:0465-83-3003

FAX:0465-82-6330